

Monthly Report

2018年 / 5 月号



目次

- 1 面: 旅行社の声 (現地旅行社キーマンインタビュー)
- 2-3面: 一般情報/トレンド情報
- 4 面: 壹友からの声/マーケット情報



Wechat(微信)

現地旅行社からの声

→ 2018年も業界不正競争を厳しく取り締まる

中国の文化・旅游部が、2018年は全国範囲で旅行マーケットの秩序を厳しく取り締まる方針を発表しました。目的は旅行マーケットの公平かつ、全体の健全な発展です。取り締まるポイントは、「不合理な低価格競争」、「強制的なショッピング行為」「違法ガイド」「白タク」などの現状に対して行います。中国の訪日旅行市場では、昨今、何年間も厳しく取り締まられている中、不合理な低価格競争は、業界から抹殺されつつあります。日本の本州団体ツアーを例にすると、4-5年前に出回っていた、2,000元程度の商品はなくなり、現在は、最安値でも4,000元（日本円：68,000円程度）以上、主力は6,000元（日本円：10万円程度）の観光メインの商品が市場に出ています。

今回の、この発表に際し、旅行会社の皆さんは拍手喝采です！

改めて厳しく取り締まることにより、マーケットがより一層きれいになり、正規の旅行販売価格が安定することに期待しています。

好評連載 【今を知る! 現地旅行社 キーマンに聞く】第38弾

浙江今日国際旅行社 マネージャー 姚飞 (Yao Fei)

- Q 今の訪日旅行状況を教えてください。
- A 東京、関西のルートは好調です。
- Q 団体客が多いですか。それともFITが多いですか。
- A ほぼ半々です。FITこれから間違いなく多くなると思います。
- Q 弊社発刊の冊子「壹遊日本」について感想やご意見をお願いします。
- A 観光施設の独特な体験情報も載せているので、結構役に立ちます。



アリペイ発モバイル決済データ、90年後生まれは消費の主力軍

アリペイ発モバイル決済データ、90年後生まれは1位

アリペイが5月1日の連休(労働節)に、モバイル決済のデータを公表した。香港、マカオ、日本はそれぞれ、最も人気な消費先である。その他は、タイ、アメリカ、韓国、オーストラリア、台湾、マレーシア、シンガポールの順である。そのような中、香港でアリペイの利用者は、昨年2017年の5月連休より倍を増えたという。

海外旅行の利用者は主に沿岸部の経済発展した地域に分布されている。その中で最も多い都市は上海、広州、北京、杭州、福州、武漢の順である。それぞれの地域は、渡航先が違ってくる。北京の利用者は、アメリカ行きが最も多く、上海の利用者は日本行きが最も多いという。武漢の利用者は、香港、重慶の利用者は、タイが多いという。同時に、データにより、男性より女性の利用者は、海外での消費を好み、アリペイの海外消費の65%は女性である。その他、90年後生まれの利用者が、80年後生まれの利用者を初めて超え、海外で消費の主力軍となっている。最も高額な消費は、カナダのロレックス時計専門店に記録されているという。

ショッピング以外に、モバイル決済は各利用シーンに見られる。食事、タクシー、観光など、中国人海外利用者の中で、最も人気なグローバルレストランは、マクドナルド、翠華餐廳、スターバックスなどだ。最も人気な観光スポットは香港の2大テーマパーク、台北101など。中国人海外利用者は最もタクシーを使う国はシンガポール、アメリカ、オーストラリアである。

中国人の海外旅行の消費レベルアップにつれ、便利な免税政策は必要となっている。現在、アリペイが開通した免税サービスは29か国で、その内、今回の5月連休で最も利用した国はそれぞれ、韓国、フランス、ドイツである。

近年来、海外旅行は中国人のレジャーの人気な選択肢となっている。海外の商業施設側も、相応したサービスを設けている。中国語ショッピングガイド以外に、モバイル決済の投入も力を入れている。例えば、タイのバンコク、チェンマイ、プーケットなどの地域で、空港からコンビニまで、どこでも中国語の標識が見られて、セブンイレブンはもちろん、個人タクシーまでアリペイが利用できるという。

出典元：人民网

支付宝发五一境外移动支付数据 90后用户首次超80后

5月1日、支付宝发布“五一”小长假出境游移动支付数据报告，香港、澳门、日本分别列为最受欢迎的消费地前三位，其他依次为：泰国、美国、韩国、澳大利亚、台湾、马来西亚、新加坡。其中，赴香港支付宝用户比2017年“五一”期间增长近一倍。

出境游用户在数量上以沿海省份及发达地区为主力，其中最多的城市是上海，广州、北京、杭州、福州、武汉随列其后。每个地区用户前往的目的地也有所不同，北京人去美国最多，上海人最爱去日本，武汉人则偏爱香港，重庆人首选泰国。数据同时显示中国女性在境外比男性更爱消费，65%在境外消费的支付宝用户是女性。此外，90后用户首次超过80后，成为境外消费主力军，单笔交易最高则发生在加拿大的一家劳力士精品店。

数据显示，除了买买买，国人在出境游时使用手机消费的趋势已经扩展到各个方面，包括餐饮、打车、景点游玩等。全球最受欢迎的餐饮连锁店分别是：麦当劳、香港翠华餐厅、星巴克，而全球最受欢迎的景点则是香港两大主题公园、台北101大厦。中国人最爱在新加坡、美国、澳大利亚打车，“五一”期间在澳大利亚用支付宝打出租车还能享受九折优惠。

报告中还提到，在支付宝目前开通退税服务的29个国家中，“五一”期间退税笔数最多的分别是韩国、随着国人出境游消费升级，如何便捷的退税也成为“刚需”法国、德国。而在游客密集的地区，支付宝还提供机场实时退税服务，包括韩国仁川机场、金浦机场，新加坡的樟宜机场，以及德国、意大利、芬兰、西班牙、荷兰、瑞典、瑞士、丹麦、挪威的主要城市机场。

近年来，出境游已经成为国人假期主要的出游方案之一。而为了更好的服务中国游客，不少境外商家都花了心思：不仅配备中文导购，还会学习使用中国人最熟悉的支付宝。以泰国为例，在游客最多的曼谷、清迈、普吉岛等地，从机场到商店，几乎到处都能见到中文标识。而在泰国的大街小巷，从7-11便利店到麦当劳，从King Power 王权免税店到私人出租车，都支持支付宝。

出典元：人民网

→ 大型連休で旅行は定番、中長距離の出境(海外)旅行は人気

国の連休休暇に繋ぎ、何日かの有給を取って、旅行するスタイルは、中長距離の海外旅行マーケットでトレンドになっている。旅行者は有給休暇と、5月1日労働節の連休を合わせて、4日間から8日間の長時間休暇を実現させている。中長距離の海外旅行の人気目的地は、東南アジアである。例えば、バリ島やサムイ島、サバ島、セブ島などは人気の旅行先である。ヨーロッパ地域にも、中国とヨーロッパの観光年のイベント効果で、イギリス、ロシア、イタリア、ドイツ、フランスは、ヨーロッパを代表する人気観光地だ。中国国内では、北京、大連、上海、三亜、杭州、西安、重慶などは人気の旅行先である。河北省は外国の観光客に免税政策を行い、海南省は59ヶ国にビザ免除政策があり、海外からの旅行マーケットに、ある程度促進効果がみられた。

Ctripの公表データにより、2018年の労働節休みの旅行時間が長く、6割の旅行者は労働節の際に、有給休暇を取って、さらに長い休みとしている。Ctripの販売データにより、41%の旅行者は3日間の旅行商品を選び、38%は4日間から6日間、1週間以上の商品を選んだ旅行者は21%があった。「通常の連休+有給休暇」というスタイルはトレンド化されている。同時に、海外旅行の数は46%を占めている。多くの旅行者は外国への旅行を選んでいる。外国政府が行っている中国人に対してビザの各種緩和政策、レートの高さ、エアー便の増加などが海外旅行に足が向きやすい要因である。

出典元：人民网

→ 拼假出游成常态 中长线出境游受青睐

拼假出游成常态 中长线出境游受青睐

拼假成为假日长线出游主旋律，游客利用带薪年假与“五一”假期拼成4至8天的长假期实现了中长线旅游。旅行商数据显示，出境旅游热门目的地首推东南亚，如苏梅岛、巴厘岛、沙巴岛、宿雾岛等备受青睐。在中欧旅游年带动下，以英国、俄罗斯、意大利、德国、法国为代表的欧洲国家成为拼假出境游热门选择。国内长线方面，北京、大连、上海、三亚、杭州、西安、重庆等为热门旅游目的地。河北省实施境外旅客购物离境退税政策，海南省对59国入境游客实施免签政策，带动入境旅游市场增长。

携程的数据报告显示，今年“五一”旅游者出游时间跨度更长，六成游客拼假出游。从携程自由行、跟团游产品的统计看，41%的游客选择3天内的行程，38%选择4到6天；选择一周以上的有21%。“小长假+带薪年假”成为趋势，携程网上“五一”出境中长线路目前预定火爆，不少上班族请假连上周末，完成一个7到12天的长线行程。同时，“五一”期间参加出境游的人数比例达46%。大部分游客都选择拼假“出国玩耍”。签证放宽、汇率利好、航班增加、旅行社促销都是刺激出境游的重要因素。

驴妈妈旅游网相关负责人指出，今年五一出境游，丝绸之路沿线的中亚五国亦进入游客的视野，在“一带一路”倡议的指引下，不少游客将出境旅游目的地瞄准了中亚地区，重走古丝绸之路，其中哈萨克斯坦最受欢迎。

出典元：人民网

Wechatの活用が旅行業へも影響及ぼす

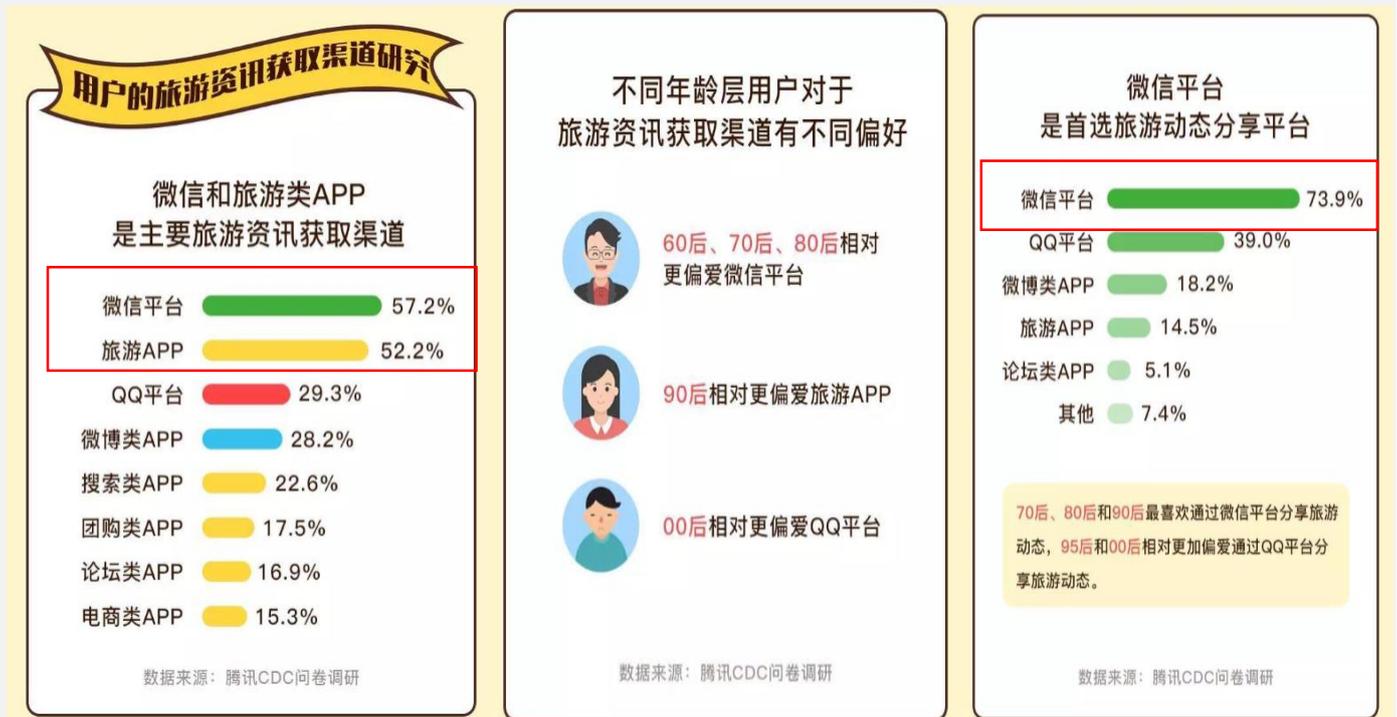
最近、同程旅游（OTA）とTencentがモバイル旅游マーケットのトレンドについて、共同研究レポートを発表しました。レポートは、オンラインアンケートによる有効サンプル8,660人の調査結果に基づく。その中に、WeChatがモバイル旅游マーケットにどのような影響力を持つかという興味深いレポートの一部をピックアップして説明させていただきます。

左側の図は“行きたい旅行先の情報を獲得する情報源”として、WeChat（微信平台）と旅游APPが、それぞれ、57.2%と52.2%を占めています。WeChatは知人からのシェアと公衆号というメディアの機能も付いているので、多くの業者に使われて、日々情報発信をしています。旅游APPは、OTAのAPPやFIT向けのSNS色が濃いAPPがメインになっています。

真ん中の図は、各年齢層が、どのチャネルを使って旅行情報を手に入れるのかを示しています。60年代、70年代、80年代生まれはWeChatがメインで旅行情報を手に入れ、90年代生まれの人は各種の旅行情報APPから情報を手に入れ、2000年代生まれの人はQQから旅行情報を手に入れています。

右側の図は、各年代生まれの人は旅行中、どのSNSチャネルを使って、旅行先の出来事などをシェアしているのかを示しています。73.9%の人はWeChatを使って友達にシェアしている。続いたのはQQと微博（中国のTwitter）となっています。

レポート全体から見てもm、やはりWeChatの利用度が高いことがわかります。



株式会社フレンドリージャパン 上海事務所

発行責任者：株式会社フレンドリージャパン

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂 805

TEL: 03-6416-5505 FAX 03-6416-5515

E-mail: madoguchi@friendlyjp.com HP <http://www.friendlyjp.com/>